

今後とも町民の皆さまの力強いご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆さまのご健勝とご多幸を祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



福智町議会議長

矢野 博文

町政を取り巻く多くの話題の中で、今年は3月下旬に待望の福智町図書館・歴史資料館「ふくちのち」が開館いたします。数々の名曲を残されました福智町出身の童謡作曲家・河村光陽直伝の楽譜等の貴重な資料が、子どもたちのためにと寄贈されており、また、本の貸し出しだけでなくものづくりや憩いの場となるため、私も「ふくちのち」の開館を楽しみにしています。

また、10月には、スーパーセンターライアルが開業予定です。地元を優先採用ということで、雇用の充実や災害時の物資供給など大いに期待をしております。今後も厳しい財政状況は依然と続くものと考えられますが、福智町をさらに魅力ある「まち」にするため町議会といたしましても、その役割と責任の重さを十分自覚し、決意も新たに一層全力で尽くしてまいります。

さて、昨年を振り返りますと、福智町では、10月1日から子ども医療費の助成対象者が中学3年生まで引き上げられました。夏の衆議院選挙では、選挙権が18歳以上に引き下げられて、初めての選挙となりました。

明

けましておめでとうございます。

平成29年の年頭にあたり、町議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆

様に謹んで新春のお慶びを申し上げます。さて、昨年は誕生10周年を迎えた福智町にとって、町政の新たな基盤を確立できた節目の年であったと実感しています。総合戦略を策定し「雇用定住促進」「地域ブランド化」「小さな拠点」の3本の柱を掲げて地方創生を進めて参りました。「しごと相談窓口」の機能も定着し、120人の雇用を生むトライアルの誘致が決定いたしました。九州最大規模の「福智スイーツ大茶会」を開催し、特に11億6千万円以上の寄付を集めた「ふるさと納税」の躍進は全国から注目を集めています。そしていよいよ「小さな拠点」として、国内でも先駆的機能を備えた図書館・歴史資料館「ふくちのち」が3月下旬にオープンを迎える運びとなりました。このように、確かな成果を残してきたまちづくりを今年には明確な形として皆様にお示しし、実感共有できる年にしたいと考えております。

一方、深刻な人口減少、更なる財政難、町の最重要課題である教育の振興など、課題は山積しています。今後は、定住促進施策を連動強化し、国鉄車両を誘致した平成筑豊鉄道や「ふくちのち」など福智ならではの魅力を磨くと共に、民営化や機能化による行財政の効率化を実行していきたいと考えております。

私は、町民の皆様が「自分の町」として郷土への誇りと愛着を持って前向きに描く夢こそ町の原動力だと思っています。その実現のためにも行政職員がプロとしての自覚と夢を抱き、一丸となってまちづくりを加速できるように、覚悟を持って取り組んで参る所存であります。新年が皆様と福智町にとって、大いなる前進の年となることを祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。



福智町長

鳴野 勝

New Year's greetings 2017

年頭のごあいさつ